



五中だより

令和 6 年 7 月 1 日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町 1 - 7 9 8

平和について

校長 伊藤 克行

6月23日(日)、沖縄県では太平洋戦争末期の沖縄戦で命を落とした日米双方約20万人をしのぶ「慰霊の日」を迎えました。最後の激戦地となった糸満市の平和記念公園で行われた戦没者追悼式では沖縄県立宮古高校 3年生の仲間友佑さんが平和の詩「これから」を朗読しました。以下原文を紹介します。

平和の詩「これから」 沖縄県立宮古高校 仲間友佑さん

短い命を知ってか知らずか
蝉が懸命に鳴いている
冬を知らない叫びの中で僕はまた天を仰いだ
あの日から79年の月日が流れたという
今年18になった僕の祖父母も戦後生まれだ
それだけの時が流れたというのに

あの日
短い命を知るはずもなく
少年少女たちは誰かが始めた争いで
大きな未来とともに散って逝った
大切な人は突然誰かが始めた争いで
夏の初めにいなくなった
泣く我が子を殺すしかなかった
一家で死ぬしかなかった
誰かが始めた争いで
常緑の島は色を失くした
誰のための誰の戦争なのだろう
会いたい、帰りたい
話したい、笑いたい
そういくら繰り返そうと
誰かが始めた争いがそのすべてを奪い去る

心に落ちた
暗い暗い闇はあの戦争の副作用だ
微かな光さえも届かぬような
絶望すらもないような
怒りも嘆きも失くしてしまいそうな
深い深い奥底で
懸命に生きてくれた人々が
今日を創った
今日を繋ぎ留めた
両親の命も
僕の命も
友の命も
大切な君の命も
すべて

心に落ちた
あの戦争の副作用は人々の口を固く閉ざした
まるで戦争が悪いことだと言ってはいけないのだと
口止めするように
思い出したくもないほどのあの惨劇がそうさせた

僕は再び天を仰いだ
抜けるような青空を飛行機が横切る
僕にとってあれは
恐れおののくものではない
僕らは雨のように打ちつける
爆弾の怖さも戦争の「せ」の字も知らない
けれど、常緑の平和を知っている
あの日も海は青く
同じように太陽が照りつけていた
そういう普遍の中にただ
平和が欠けることの怖さを
僕たちは知っている

人は過ちを繰り返すから
時は無情にも流れていくから
今日まで人々は
恒久の平和を祈り続けた
小さな島で起きた
あまりに大きすぎる悲しみを
手を繋ぐように受け継いできた

それでも世界はまだ繰り返してる
79年の祈りでさえも
まだ足りないというのなら
それでも変わらないというのなら
もっともっとこれからも
僕らが祈りを繋ぎ続けよう
限りない平和のために
僕ら自身のために
紡ぐ平和がいつか世界のためになる
そう信じて

今年もこの6月23日を
平和のために生きている
その素晴らしさを噛みしめながら

この詩を読んでどんなことを感じたり、考えたりしましたか。あえて私の感想は書きません。この詩を書いた仲間さんはもちろん、私も戦争を知りません。現在日本で戦争も起きていません。しかし、TVを見てみると、世界では毎日のように戦地から凄惨な光景が映し出され、日本では8月に長崎、広島でも平和式典が開かれます。戦争を知らない私たちだからこそ戦争から目を背けてはいけないと思っています。むしろ戦争を自分事としてとらえる気持ちを大切にしたいと思っています。

生徒の活躍のようすをお伝えします

(1) こだいら特別活動の日

6月8日は「こだいら特別活動の日」でした。

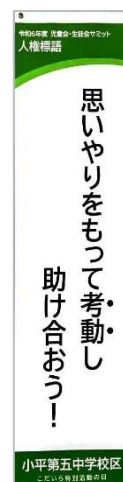
午前は学校公開があり、3校時には全学級で学級活動（特別活動）の授業を行いました。学級委員を中心にして、学級目標に対する学級の取組を振り返ったり、今後どうしていくとよいか考えたりしました。

午後は生徒会の代表生徒2名が小平市福祉会館へ行き、市内全校の代表児童・生徒で「児童会・生徒会サミット」を行いました。中学校区ごとに話し合って、自分も人も大切にできる学校づくりをテーマにして各校から持ち寄ったキーワードを基に「人権標語」をつくりました。

第五中学校区の人権標語は「思いやりをもって考動し助け合おう！」になりました。

本校の教員はミーティングルームから、サミットの中継を見ていました。代表の生徒が同じ中学校区の第一小学校、第十二小学校、上宿小学校の代表児童と一緒に、話し合いをリードしながら一つの標語にまとめていく姿は立派で、いつにも増して頼もしく見えました。

市役所に各中学校区でつくった標語と、サミットの様子の写真が掲示されています。



(2) 3学年進路説明会

6月13日に保護者の方々を対象とした進路説明会を行いました。3学年以外の保護者の方も多数参加されました。自分にどのような進路が合っているのか、希望する進路先のウェブサイトから情報を得たり、見学に行ったりと、情報集めをするとよいこと、以前と制度が変わってきていることがあるため、気になることがあれば都度相談していただくとよいことなどをお伝えしました。



(3) 8組多摩特研球技大会

6月21日に8組の生徒が、「多摩特研球技大会」に参加しました。この大会は多摩地区の13校の特別支援学級が集まって開催するバスケットボール大会です。当日は朝から東村山スポーツセンターに行き、8組からは4チームが出場してバスケットボールをしました。

試合中はあきらめず最後までボールを追う姿が印象的でした。また自分の学校のチームだけでなく、他校にも声援を送る様子が見られ、素敵でした。

